

松下幸之助記念志財団 研究助成

## 研究報告

(MS Word)

## 【氏名】

清水麻子

## 【所属】(助成決定時)

東京大学大学院 学際情報学府学際情報学専攻

## 【研究題目】

北欧民主主義を支える報道のあり方に関する研究

- デンマーク公共放送 DR の「客観中立性」の考え方とアドボカシー報道の実践を中心に

## 【研究の目的】

グローバル化や新自由主義、インターネット社会の浸透は、人々の生活リスクを拡大させ、社会に緊張や不寛容、社会の分断をもたらしている。本研究は、北欧・デンマークの市民参加型民主主義とジャーナリズムの関係性を探り、「異なる立場や意見の人々が互いに尊厳を保ちながら生きていく」ことを可能にする報道のあり方を考察する内容である。デンマークには思想家グルントヴィの思想が根付き、多様な人々が、フラットな関係性の中で、対話による相互作用を重ねつつ「下から上」への民主主義を醸成してきた歴史がある。ジャーナリズムにも政府や政府家、労働組合、市民団体など多様な団体との交渉を通じて妥協点を探る「コーポラティズム」を尊重する文化が残り、立場や意見の違いを超えて建設的に問題を解決していこうとする気風が残る。北欧のジャーナリズムを深く考察することは、インターネット上や SNS などにおける意見の対立が広がる現代日本にも示唆を与えらると思われる。

## 【研究の内容・方法】

本研究はデンマークの公共放送 DR のジャーナリズムを研究対象に、北欧の参加民主主義を支える報道の在り方を考察する内容である。公共放送に根付く様々な意見を反映させる「客観中立性」という米国的価値と、多様な人々の声や意見を強く代弁し主張する「アドボカシー」という概念とのコンフリクトに注目し、その二つの価値に対してデンマークのジャーナリズム(公共放送 DR と新聞)がどう対応しているのかという点を以下の2つの方法で調べた。

## 1) デンマーク公共放送 DR のジャーナリスト5人への質的インタビュー(半構造化)調査

DR の中でも様々なタイプのジャーナリストの意見を拾うため、新しいアドボカシー実践である「建設的ジャーナリズム」に取り組むジャーナリスト、政治ジャーナリスト、ダイバーシティを担当する編集者を対象に実施した。公共放送に携わる者として、「客観中立性」「アドボカシー実践」をどう捉えているのかについての意識を中心に尋ねた。インタビュー対象者は以下のとおり。

- ① DR ラジオの編集者 ティン・ラド・シーラップ (Tine Rud Seerup) 氏
- ② DR テレビレポーター メッテ・アービー (Mette Aaby) 氏
- ③ DR テレビレポーター サラ・ゴルチク (Sarah Goleczyk) 氏
- ④ DR News ジャーナリスト・政治アナリスト、イエンス・リングバーク (Jens Ringberg) 氏
- ⑤ DR Accessibility Editor、ハイジ・シベベック (Heidi Sivebaek) 氏

2) ジャーナリズムのアドボカシー実践とは切っても切り離せない「表現の自由」のあり方を考察するために、2005年にデンマークの保守派新聞ユランズ・ポストン紙によるイスラム教ムハンマドの風刺画掲載事件をめぐる新聞報道18記事を収集し、日本語に翻訳した。デンマークの新聞は、政党と平行な関係性を保ちながら発展してきた歴史がある一方、表現の自由への価値を尊重する風土が強く根付く。表現の自由は民主主義を進めるために崇高なものであるが、一方で、すべての表現を尊重することは意見が異なる者の人権を守るという観点からは危うい点があるのではないかと分析と考察は今後、深めていく予定である。

#### 【結論・考察】

インタビュー調査対象のDRのジャーナリストたちは総じて、「客観中立性」について、「公共放送として多様な声や意見を掬いあげる」ために最重要視すべき報道倫理と考えていた。同時に、市民に近づいて社会問題などの解決を探ろうとするアドボカシー実践については5人中4人が「公共放送の社会的責任」と捉え、「偏向」とは捉えていなかった。つまり調査対象のジャーナリストたちの職業倫理の中には「客観中立性」と「アドボカシー」の2つの規範があり、ジャーナリストはその個人の考え方によって両者を車の両輪として保ちながら、報道活動を繰り広げていることが明らかになった。分断や格差の解消を重要な社会課題と捉え、「DRがまだ紹介していない人々の声を聴き、ニュアンスを知る」ために地方都市に出向き、人々と対話を重ねるワークショップを開催する民主主義実践も行われていた。「客観中立性」と「アドボカシー」の両輪で社会への責任を果たそうとするDRのジャーナリストたちの姿勢は、日本の公共放送NHKの「社会的責任」を考察するうえでも参考になると思われた。